

## 【ロッテ全方位捜査】裏金疑惑の中心に立った「シン・ドンビンの男たち」

ソウル経済

記事入力 2016.06.15 午後 6:33

### ファンクギユ「中間業者を入れる」と裏金造成中核推定

キム・チャンゴンロッテ資産開発代表は、不動産取引の背後に名指し

「資金源管理」小林キャピタル代表も召喚予定

ロッテグループに対する検察の捜査が拡大され、シン・ドンビン会長の主な道グループが中核標的となっている。

これら新会長の秘密資金造成の過程で重要な役割を担当したものと推定されており、彼らの「口」を開くために、検察捜査力が集中すると予想される。これらのまた検察召喚に備えて対策を立てるに注力するなど、場外機の戦いも熾烈に展開されている。

ロッテケミカルは、主要なこと斜線上に上がり、新会長の最側近であり、石油化学の専門家として知られているファンクギユ政策本部運営室長がスポットライトを浴びている。黄室長は、2011年から最近まで、ロッテケミカルが海外の石油化学製品の原材料を輸入する過程で中間取引先を入れる方法で数百億ウォン台の秘密資金を造成するために中枢の役割をしたという疑惑を受けている。

黄室長は最近、弁護士事務所が密集し瑞草洞に現れたことが分かった。検察の捜査に備え全館出身の有力弁護士を選任しようとしている噂も続いた。

韓国と日本のロッテの資金の流れと資本流出疑惑の中心には、小林将モットー韓国ロッテキャピタル代表がある。小林代表はロッテ経営の最高峰の日本ロッテホールディングスの最高財務責任者（CFO）を兼ねている。財界では、小林代表が新会長の資金源を管理する重要な役割を担っていると知られている。ロッテキャピタルナイフの代表を務めているが、国内ではよく知られていない「隠れた実力者」に通じる。ただし小林代表を検察で見ることができるかは、今のところ未知数だ。小林代表は現在、日本に出国したことが確認された。

キム・チャンゴンロッテ資産開発代表は系列会社間の怪しい不動産取引の背後に指摘されている。ロッテ資産開発は、グループの各種開発事業に参加して不動産取引を主導している。キム代表は、新会長の支持の下、国内外の様々な不動産開発事業に参入した。検察は、コアの疑いで系列会社やオーナー一家の不動産取引状況を見ているだけに関連する内容に最も明るい金代表が何らかの形で関与しているという観測である。

検察は、彼らの協力が捜査の成果を決める重要な要因とみている。それだけこれらの召喚にも慎重に準備する姿である。検察は、押収物の分析と企業の実務関係者召喚などを介して最初の調査を終えた後、今月中に本格的な召喚に乗り出す方針だ。

/ジンドンヨウン記者 jin@sedaily.com